



## 2022年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

2021年11月4日

上場会社名 株式会社クロップス 上場取引所 東・名  
 コード番号 9428 URL https://www.crops.ne.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 有幾  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部担当 (氏名) 後藤 久輝 TEL 052-588-5640  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	21,320	10.4	1,204	24.7	1,267	16.1	660	10.7
2021年3月期第2四半期	19,310	△7.4	966	8.6	1,091	16.7	596	25.0

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 922百万円 (18.2%) 2021年3月期第2四半期 780百万円 (40.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	73.12	—
2021年3月期第2四半期	63.48	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	24,876	10,344	34.4
2021年3月期	24,688	9,871	32.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 8,569百万円 2021年3月期 7,981百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2022年3月期	—	0.00			
2022年3月期 (予想)			—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	7.2	2,141	3.8	2,221	△3.3	1,013	18.8	112.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期2Q	9,597,400株	2021年3月期	9,597,400株
2022年3月期2Q	561,085株	2021年3月期	561,085株
2022年3月期2Q	9,036,315株	2021年3月期2Q	9,398,317株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	2
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,628	7,107
受取手形及び売掛金	4,059	3,535
商品	1,633	1,591
販売用不動産	518	169
その他	1,148	1,125
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,986	13,529
固定資産		
有形固定資産	3,284	3,537
無形固定資産		
のれん	95	59
その他	107	99
無形固定資産合計	203	158
投資その他の資産		
差入保証金	5,499	5,800
その他	1,714	1,850
投資その他の資産合計	7,214	7,651
固定資産合計	10,702	11,347
資産合計	24,688	24,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,464	2,198
短期借入金	1,500	1,500
1年内返済予定の長期借入金	308	285
未払法人税等	389	437
賞与引当金	216	312
その他	2,966	2,704
流動負債合計	7,846	7,439
固定負債		
長期借入金	625	489
役員退職慰労引当金	5	5
退職給付に係る負債	204	206
資産除去債務	199	264
長期預り保証金	5,482	5,779
その他	452	347
固定負債合計	6,969	7,093
負債合計	14,816	14,532
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	255	255
資本剰余金	1,471	1,455
利益剰余金	6,521	7,028
自己株式	△414	△414
株主資本合計	7,833	8,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162	250
為替換算調整勘定	△14	△6
その他の包括利益累計額合計	148	244
非支配株主持分	1,890	1,775
純資産合計	9,871	10,344
負債純資産合計	24,688	24,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	19,310	21,320
売上原価	14,692	15,890
売上総利益	4,618	5,429
販売費及び一般管理費	3,652	4,225
営業利益	966	1,204
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	11
雇用調整助成金	66	30
受取補償金	25	46
その他	46	25
営業外収益合計	148	114
営業外費用		
支払利息	5	3
支払補償費	11	45
その他	6	1
営業外費用合計	23	50
経常利益	1,091	1,267
特別利益		
固定資産売却益	38	—
雇用調整助成金	22	—
特別利益合計	60	—
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
感染症関連損失	20	—
特別損失合計	22	0
税金等調整前四半期純利益	1,130	1,267
法人税等	408	444
四半期純利益	721	822
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	161
親会社株主に帰属する四半期純利益	596	660

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	721	822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	88
為替換算調整勘定	△18	11
その他の包括利益合計	59	99
四半期包括利益	780	922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	653	757
非支配株主に係る四半期包括利益	127	164

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,130	1,267
減価償却費	89	101
のれん償却額	91	51
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	95
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	1
受取利息及び受取配当金	△10	△11
支払利息	5	3
固定資産除売却損益(△は益)	△36	△0
雇用調整助成金	△88	△30
感染症関連損失	20	—
売上債権の増減額(△は増加)	821	534
棚卸資産の増減額(△は増加)	552	410
仕入債務の増減額(△は減少)	△574	△291
差入保証金の増減額(△は増加)	184	△269
預り保証金の増減額(△は減少)	△168	297
未払消費税等の増減額(△は減少)	△133	△31
その他	△290	△320
小計	1,614	1,808
利息及び配当金の受取額	10	11
利息の支払額	△5	△3
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△466	△357
雇用調整助成金の受取額	88	30
感染症関連損失による支出	△20	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,220	1,489
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△47	△327
有形固定資産の売却による収入	140	0
無形固定資産の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
事業譲受による支出	—	△52
保険積立金の解約による収入	73	1
差入保証金の差入による支出	△12	△29
差入保証金の回収による収入	0	6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△74	—
その他	△4	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	72	△394
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△250	—
長期借入金の返済による支出	△158	△158
リース債務の返済による支出	△5	△6
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△80
子会社の自己株式の取得による支出	—	△135
配当金の支払額	△162	△153
非支配株主への配当金の支払額	△81	△80
自己株式の取得による支出	△414	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,073	△614
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	239	509
現金及び現金同等物の期首残高	6,044	6,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,283	7,107



（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。また、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従来の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、携帯端末の販売及びその付帯サービス全般を提供する「移動体通信事業」、人材派遣・業務請負等を提供する「人材派遣事業」、清掃・設備管理・施設警備等を提供する「ビルメンテナンス事業」、店舗の転貸借、開店・閉店支援サービス等を提供する「店舗転貸借事業」、店舗不動産の仕入販売や建築販売を提供する「不動産売買事業」、輸入文具、包装資材、自然派化粧品企画・卸売販売等を提供する「卸事業」、海外における労働ビザ申請、給与計算、税金・社会保険料計算等の業務を提供する「海外事業」の7つを報告セグメントとしております。

## (2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格を勘案して決定しております。

## (3) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメンテ ナンス事業	店舗転貸 借事業	不動産 売買事業
売上高					
外部顧客への売上高	6,329	1,133	2,828	4,759	414
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	58	0	—	—
計	6,329	1,192	2,828	4,759	414
セグメント利益又は損失(△)	413	9	205	219	70

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	卸事業	海外事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,697	148	19,310	—	19,310
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	—	58	△58	—
計	3,697	148	19,369	△58	19,310
セグメント利益又は損失(△)	95	△52	962	3	966

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去3百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメンテ ナンス事業	店舗転貸 借事業	不動産 売買事業
売上高					
外部顧客への売上高	7,976	1,028	2,915	4,996	670
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	48	0	—	—
計	7,976	1,076	2,915	4,996	670
セグメント利益又は損失(△)	394	0	177	339	102

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	卸事業	海外事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,571	162	21,320	—	21,320
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	0	48	△48	—
計	3,571	163	21,368	△48	21,320
セグメント利益又は損失(△)	166	20	1,200	3	1,204

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去3百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。